

教科(科目)	福祉(社会福祉基礎)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	2単位	教科書	人間の理解(中央法規) 社会と制度の理解(中央法規)
		副教材	
科目の目標	・社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解させる。 ・個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉え、その意義と理念を理解させる。 ・社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、仕組みについて理解させる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	人間の尊厳と自立	<ul style="list-style-type: none"> ○人間の尊厳と自立の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・人間を理解するということ ○尊厳と自立をめぐる歴史と仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・人権、そして尊厳と自立の思想 ○人間の尊厳・自立と生活 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよき人生を送るために 	授業観察 学習プリント グループディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳を福祉のもつ意義から考え、生活支援の基本原則であることを学ぶ。 ・人間の尊厳と自立が、人間の幸せに深く関わっていることを学ぶ。
5	介護における尊厳の保持・自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ○介護における尊厳保持と自立支援の理論 <ul style="list-style-type: none"> ・介護における権利擁護と人権尊重 ・介護における自立支援 	授業観察 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人が有する権利とは何かを理解する。 ・介護の場面での権利侵害の背景や権利擁護、自立のあり方、自立支援について理解する。
中間考査(内容把握、人間の尊厳と自立の意義等について)				
6	私たちの生活と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の構造 <ul style="list-style-type: none"> ・生活構造と家族 ・地域社会と個人 ・人と社会、組織 	授業観察 学習プリント グループ学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活を見つめ、家族や地域がどのように個人と関わっているか、またその機能と役割の変化について理解する。
7	私たちの生活と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・現代におけるライフスタイルの変化 ・生活の支援と福祉の体系 	授業観察 学習プリント 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルの変化、疾病構造、社会構造の変容などを取り上げ、人間の生活と社会との関わり、少子高齢化の進行と介護の社会化について理解する。
期末考査(内容把握、生活の構造)				
8	夏季休業(課題学習)			
9	社会保障の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ○社会保障の基本的考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の役割と意義 ・社会保障の目的と機能 ○日本の社会保障制度の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の歴史を学ぶ ・日本国憲法における社会保障 	授業観察 学習プリント 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の定義、その目的について学び、私たちの生活や人生の中での社会保障の位置づけについて理解する。 ・日本国憲法の中の社会保障に関する条文、社会保障の歴

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
9	社会保障の仕組み	・戦後保障と社会保障基盤整備	授業観察 学習プリント 確認テスト	史について学び、社会保障、福祉に関する考え方の変化について理解する。
10		・介護サービスの内容・種類	授業観察 学習プリント 確認テスト グループ学習	・施設実習で学ぶ各施設におけるサービス内容についてその内容と種類を理解し、実習時に関連づけることができる。
中間考査（内容把握，社会保障の仕組み）				
（介護実習10月17日～10月31日）				
（介護実習11月1日～11月7日）				
11	社会保障の仕組み	・国民皆年金・皆保険の確立 ・福祉施策の充実（福祉六法の時代） ・社会福祉基礎構造改革	授業観察 学習プリント 確認テスト	・年金等について、基礎知識を習得する。
12		○日本の社会保障制度の仕組み ・社会保障を支えるもの・社会保障制度の仕組み	授業観察 学習プリント	・日本の社会保障制度のしくみについておおまかな理解ができています。
期末考査（内容把握，国民皆年金・皆保険，社会保障制度の仕組み）				
冬季休業（課題学習）				
1	社会保障の仕組み	・現在の社会保障制度の体系 ・各種社会保険の概要 ・各種社会扶助の概要	授業観察 学習プリント 確認テスト	・年金・医療・雇用等の各種社会保険や公的扶助等の社会扶助についての理解できている。
2		○現代社会と社会保障制度 ・少子高齢化の進行と社会保障 ・財政問題と社会保障 ・社会保障における給付と負担の関係	授業観察 学習プリント 確認テスト	・社会保障制度の運営に大きな影響を与える人口、財政問題について学び、少子高齢化の進行と社会保障について、ライフコースと関連づけて理解できている。
3		※社会保障のまとめ	自己学習ノート 確認テスト	・社会保障の仕組みとそれを構成する各制度等が理解できている。
学年末考査（内容把握，社会保障のまとめ）				

評価の観点及び趣旨

①関心・意欲・態度

社会福祉に対する関心を持ち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組むとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身につけている。

②思考・判断

日常生活から派生する社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、社会福祉の意義や役割について適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。

③技能・表現

社会福祉に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、実習・調査・研究等で考察した過程や結果を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。

④知識・判断

現代社会における社会構造の変容や特色について把握し、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、社会福祉の理念について、その意義や役割を理解している。

「社会福祉基礎」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20 %程度	②思考・判断	20 %程度
③ 技能・表現	20 %程度	④知識・判断	40 %程度